キャリアプロジェクト啓

Kei だより 2023

栃木県立佐野東高等学校
第３号　2024/03/22

「キャリアプロジェクト啓」とは？

佐野東高校では、「キャリアプロジェクト啓」と称する探究型キャリア教育に取り組んでいます。生徒一人ひとりが自身の適性や興味関心に応じて、課題を設定し研究を重ねることで、キャリアを形成してくために必要な意欲・態度や能力の育成を目指しています。大学や企業等との連携や協働により、自ら設定した課題をより深めるとともに、社会の一員としての自覚を持ち、自己実現を図ることをねらいとしています。特に「総合的な探究の時間」での一連の活動を“Kei”と呼び、３年間を通じて自分自身の進路に向き合います。

佐野東高校では、３年間を通して「キャリアプロジェクト啓」に取り組みます。

◆Kei 学年発表会　１月下旬に、１・２年生全員がこれまでの研究成果を８枚のスライドにまとめ、学年ごとに発表会を開催しました。

◇１年生「佐野市の活性化のために高校生としてできる取り組み」(1/24)　学校祭での中間発表や大学・企業訪問での経験を活かし、佐野市の課題について各自が環境問題や防災、交通安全、観光、スポーツ等の様々な観点から、テーマを設定し研究に取り組みました。

◇２年生「ゼミによる取り組み」(1/26)

機械、自然科学、建築土木、電気電子、医療、栄養、こども、教育、まち、国際という10のゼミに分かれて、出前授業や実地研修に取り組み、各自が自身の進路に関連した社会課題をテーマとし、研究を進めてきました。

◇２年生の発表会には、高大連携協定を締結している足利大学や佐野日本大学短期大学の先生方にもご参観いただきました。また、１年生も先輩の研究を見学し、１年後の自分の姿を思い描きました。

◆Kei プロジェクト発表会(3/15)

相互評価等により選出された各学年５作品のステージ発表が行われました。１年生は選ばれた作品をグループでブラッシュアップし、小道具や寸劇を取り入れ、ユニークな発表に仕上げました。２年生は個人での研究を更に深め、より具体的な提言となりました。佐野市長、佐野市議会議員、学校評議員等のご来賓の皆様からも高い評価をいただきました。

◆中村怜詞先生（島根大学教育センター准教授）にオンラインで講評をいただきました(3/15)　一時接続のトラブルがあり、ご迷惑をおかけいたしましたが、中村先生よりそれぞれの発表に関して、講評をいただくことができました。探究学習を通して価値観が変わっていったり、教科における学習の重要性に気づかされたりと、改めて探究の意義を学ぶ機会となりました。

Kei プロジェクト発表会テーマ一覧

【１年】

○「サイクリングを通して」
○「ポイ捨てするよりリサイクル」
○「観光客で活気あふれる街にしよう～姉妹都市と連携して佐野市を観光名所に～」
○「佐野市を安心安全な街へ」
○「女子サッカーを盛り上げたい！」

【２年】

○電気電子ゼミ「自転車ヘルメット着用推進運動」
○機械ゼミ「段差解消車椅子の提案」
○建築土木ゼミ「粒子の大きさと水の関係」
○国際ゼミ「日本の災害と外国人～佐野市の観光地と避難場所～」
○まちゼミ「佐野市の魅力を浸透させる」

◆<u>佐野市議会議員との懇談会(3/15)</u>　６名の佐野市議会議員の皆様にご参加いただきました。発表を行った１・２年生２４名が、以下の４グループに分かれ、発表会での提言をより深めました。

1）佐野市の課題を改善
2）観光地としての魅力あるまちづくり
3）安心・安全なまちへ
4）スポーツで佐野市を活性化

市議会議員の皆様から、実現に向けた助言をいただき、また新たな視点で課題を捉えることができました。

↑懇談会により提言をブラッシュアップ
←活発な意見交換が行われました

Kei 振り返りアンケート

Kei 学年発表会後に、１・２年生にアンケートを実施しました。佐野市をテーマに研究した１年生は、地域社会の一員であることを強く認識できたようです。また、自分自身の進路に関連付けてテーマを設定した２年生は、この取組が進路に向き合うきっかけとなりました。

Kei プロジェクトを通して…	２年生		１年生	
	はい どちらかと 言えばはい	いいえ どちらかと 言えばいいえ	はい どちらかと 言えばはい	いいえ どちらかと 言えばいいえ
①自ら学び、行動することができるようになった	**95.3%**	4.7%	**94.9%**	5.1%
②人に気持ちを汲んで寄り添うことができるようになった	92.1%	7.9%	**96.4%**	3.6%
③地域社会の一員であることを認識することができるようになった	88.4%	11.6%	**94.9%**	5.1%
④社会の一員として地域社会の発展に貢献したいと考えるようになった	90.0%	10.0%	**95.9%**	4.1%
⑤自分自身の将来について考える機会が増えた	**93.2%**	6.8%	88.7%	11.3%
⑥自分の考えを発信することができるようになった	92.6%	7.4%	90.3%	9.7%
⑦Kei プロジェクトの活動に関して、自分は頑張ったと思える	**94.7%**	5.3%	**96.4%**	3.6%

「Kei プロジェクトの活動に関して、自分は頑張ったと思える」と回答した生徒が１・２年生ともに大半を占め、このプロジェクトを成し遂げたことで自己肯定感を高められたと感じています。１年生に関してはグループでの取組もあり、協働性や共感力も育むことができました。**「Kei プロジェクトを通して、特に身についたと考える力を２つ選んでください」**の問いに、1 位は「課題発見力・探究力」で、29.5%(２年生)・43.1%(1 年生)でした。2 位は「学びに向かう力」で 22.6%(２年生)・19.5%(1 年生)という結果となりました。探究学習が、進路意識の向上を図るとともに、学習へのモチベーションにも繋がっています。また、**「Kei プロジェクトを通して、気づいたり感じたりしたことは何ですか」**の問いには、次のような意見がありました。 **(２年生)**●今まで考えたことのなかった問題を自ら提示し、解決策を考えることで主体性が高まったと思いました。●他の人の発表も聞き、そんな考え方もあるのだと多くのことを学べました。●人に自分の考えや主張を伝えるのは大変だった。また、相手を納得させることのできるものを作るのが難しかった。●問題解決に至るまでにはたくさんのデータや事実が必要である。●聞き手を説得できるような説明をするのは難しく大変だった。●自分の考えだけでなく様々な視点からの考えを多く知れた。そして、ひとつの問題に対して詳しく調べることでその分野の知識が深まった。●今まで関わることのない問題と出会い、日本が今抱えている課題について以前より深く知ることができました。また、課題に対する解決策も知ったので自分でできることは積極的に行動に移していきたいと思いました。●自分の興味を形として表現する機会が今まで無かったので、貴重な体験ができたと思う。●新しい人や場所との出会いが私にとって最も印象的でした。特に、異なる文化や考え方を持つ人々との交流は、自分の視野を広げ、新しい視点を得る機会を与えてくれました。●頭で考えていることを実際に行動に起こすことがどれだけ大変か、勇気のいることかよく分かりました。●自分の身近なことから問題を考えてそれに対する対策を自分の力で考えられました。ニュースなどでよく見る大きな問題よりも身近な問題の方が自分達も取り組みやすく、周りの人と一緒に取り組めるので身の回りに目を配ることが大切だと思いました。●自分と異なる意見を持った人たちとそれぞれの考えを発表することで、自分には想像のつかないような新しい考え方が増えました。 **(１年生)**●kei によって佐野についてより深く理解し、課題やその改善方法などをみんなで考えることができました。みんなと意見を交わすことの楽しさが分かりました。●佐野市にはまだまだたくさんの課題があるのでそれを解決するため私たちの世代が頑張っていきたいと思った。●佐野市にはまだまだ知られていない魅力があることがわかりました。また、佐野市の学校に通う一人の高校生として何か佐野市に貢献したいと思いました。●kei プロジェクトを行って学びを継続する力がついたのでこれを今後に繋げたい。●友達とプロジェクトを共有すると、達成したい目標が一緒でも、その過程が違ったりして他の解決の考え方も知ることができ、おもしろいと感じました。●今、佐野市に住んでいる人が、佐野市についてどう思っているのか、実際の声を聞いて、佐野市の課題と解決方法をまとめてみたいと思いました。

おわりに　◆各学年とも自分の考えをしっかりと発表することができました。アウトプットまでにはたくさんのインプットがあったはずです。自身の研究の根拠となる材料を実験やアンケート、インタビュー、文献等により集めたことと思います。それらをもとに、考えを練り、試行錯誤しながら、提言たどり着いたのではないでしょうか。アウトプットを重ねることに、成長が見られたことは私たち教員にとっても大きな喜びでした。Kei プロジェクトを通して、生徒一人ひとりが自分自身の進路や学習に向き合い、輝かしい未来を啓く（ひらく）ことを願っています。◆今年度 Kei プロジェクトにご協力いただきました大学・企業・行政の皆様、保護者の皆様に感謝申し上げます。次年度も何卒よろしくお願いいたします。　（文責　早川）